

平成 31 年度 定期総会開催される

去る4月14日(日)に、平成31年度進修同窓会定期総会が、母校体育館において、周年祝賀卒業生等を含む約500名の、全国各地からお越しくくださった同窓生の皆様のご出席を得て、盛大に開催されました。また総会に先立って、定時制部会も例年通り校内食堂で開かれました。

総会では、冒頭で、応援指導部のリードのもと、吹奏楽部の伴奏に合わせて、校歌・応援歌・一高讃歌を参加者全員で斉唱。物故会員に対する黙禱に続く幡谷浩史進修同窓会長と植木邦夫校長(高31回)の挨拶の後、平成30年度事業報告及び決算報告・別途積立金決算報告、監査報告、更に幡谷会長等の退任に伴う、新会長を大野金一氏(高8回)、新副会長を櫻井一男氏(高17回)、竹井茂雄氏(高19回)、渡邊慎一氏(高20回)、松井泰寿氏(高21回)、鈴木義人氏(高21回)、杉田幸雄氏(高29回)とする等の役員改選案、規約改正案、平成31年度事業計画案及び予算案等が提案され、原案通り承認可決されました。また大野金一新会長は、挨拶の中で「外壁の色等を創建時に復原する旧本館校舎改修工事を含めた120周年記念事業実施に際しては、多くの会員の皆様から浄財を賜り、深く感謝致します。今後も、母校が中高一貫校になる等の変化の激しい時代にあって、皆様の尚一層のご協力をお願い申し上げます。」と、力を込めて話されました。最後に、次年度以降の総会日も、原案通り承認可決されました。その後、幡谷浩史氏(前会長)、大曾根宏亮氏(前副会長)、青山和義氏(前副会長)、熊木士郎氏(前監事)、荒木克義氏(前事務室長)の5名の役員退任者に対する感謝状の贈呈、大型スクリーン(一昨年度、同窓会から学校に謹呈)を使用し、本会が助成する事業の一つで、今年10回目となる生徒海外研修(Science Explorers Group、参加者:生徒38名・引率教員3名、期間:2019年3月17日~3月27日、訪問地:ワシントンD.C.・ボストン・ニューヨーク)に参加した生徒の代表からの成果報告があり、総会は終了しました。

引き続き、同会場で、次の学年の卒業周年祝賀式が執り行われ、祝辞を鈴木良治氏(高22回)が、謝辞を日置政克氏(高21回)が、それぞれ述べられました。

- 卒業60周年:全日制 高校11回(昭和34年3月卒業)、定時制 高校9回(昭和35年3月卒業)
- 卒業50周年:全日制 高校21回(昭和44年3月卒業)、定時制 高校19回(昭和45年3月卒業)
- 卒業40周年:全日制 高校31回(昭和54年3月卒業)、定時制 高校29回(昭和55年3月卒業)
- 卒業25周年:全日制 高校46回(平成6年3月卒業)、定時制 高校44回(平成7年3月卒業)
- 卒業15周年:全日制 高校56回(平成16年3月卒業)、定時制 高校54回(平成17年3月卒業)

祝賀式終了後、それぞれの懇親会は、幹事のお骨折りで、「卒業50周年」「卒業40周年」「卒業25周年」「卒業15周年」が、ホテルマロウド筑波に移動して催されました(「卒業60周年」はホテルグランド東雲で開催)。そこでは、笑顔と熱気に溢れ、恩師や旧友との再会を喜び合うとともに、懐かしい思い出話や近況報告等に花が咲き、大いに盛り上がりました。



左から幡谷浩史前会長・大野金一新会長・植木邦夫校長



役員退任者への感謝状の贈呈。演台の前に立つのは荒木克義氏、感謝状を手にされているのは、左から幡谷浩史・大曾根宏亮・青山和義・熊木士郎の各氏(左上)。応援指導部のリードのもとでの校歌・応援歌・一高讃歌の斉唱(下段)。



鈴木良治氏



日置政克氏